

# いつか来る死

糸井重里 × 小堀鷗一郎

「一人で死ぬのも、  
看取られて死ぬのも、  
人それぞれ。  
正解はない」小堀

「先がないと思うと  
ピリツとして、  
覚悟や勇気が  
出てきます」糸井

72歳の糸井重里が、400人以上を看取ってきた  
82歳の訪問診療医と「死」を捉え直す。「生」を全うする術とは。



糸井重里  
いつか来る死  
小堀鷗一郎

定価：本体1400円(税別)  
ISBN978-4-8387-3126-8

●電子版もあります

- 65歳から死ぬ旅をしている自覚が芽生える
- 85歳を過ぎたら死に方を決めておくといい
- 残り時間を意識すると  
やらなくていいことが見えてくる
- 家での老衰死と病院での孤独死、どちらが幸せか
- 食べたり飲んだりしないから死ぬのではない、  
必要ないから食べたり飲んだりしなくなる
- 胃ろうではなく皮下注射で水分供給する場合  
●死に目に会えなくても親不孝ではない……ほか

## 刊行記念オンラインイベント開催!

【日時】11月25日(水) 19:00~20:30 【場所】紀伊國屋書店Zoom配信  
【参加方法】18日(水)までに全国の紀伊國屋書店・ウェブストアにて、  
紀伊國屋書店ポイントカードを提示して書籍をお買い上げの上、お申し  
込みください。※応募人数が多数の場合抽選。お問い合わせ先:03-3354-0131



写真/幅野広志

マガジンハウス

〒104-8003 東京都中央区銀座3-13-10 ●読者サービスセンター ☎0120-797-300(土日祝日を除く、平日9:30~18:00)  
書店、インターネット書店でお買い求めください。 <https://magazineworld.jp/books/>